

入会用紙の記載が簡単になりました

これまで記載事項の多い申込書でしたが、お守り入会や保育ルームの親子利用をご希望の場合は、上段（※オレンジの囲みの箇所）と署名の記載のみ。保育ルームでの預かりやサポートご利用希望の場合は、下段までの記載をお願いします。（詳細はセンターでご確認ください）

児童表は一時保育やサポートをご利用希望の方のみの記載となり、予防接種歴の記載不要、母子手帳の持参も不要です！

入会申込書と児童表が
新しく、簡単に
なりました！

利用会員 ▶ 入会申込書

児童表 ▶

利用会員の皆さまへ

いわで・きのかわファミリーサポートセンターは、原則として0歳から12歳の児童がいるご家庭が支援対象です。継続的なサポートが必要な場合や障害があるお子さまの場合は中学卒業時までご利用可能ですが、中学卒業後は支援対象から外れ、支援終了となります。そのため、登録児童末子の中学校卒業時点で、センターでの会員退会手続きを取らせていただきます。ご了承くださいますよう、よろしくお願ひいたします。

編集後記

- 今回も新しいスタッフさんにご登録いただき、安全に気を配つて、実習をしていただきました。小さなお子さまとのふれあいも楽しみに活動してくれています。（I）
- 今回も講座でおなじみの城先生に「じょうちゃん園長体験記」を書いていただきました。心がほっこりあたたかくなりました。（E）

支援料について

- 基本時間帯(7:00～20:00)1時間あたりの料金
- 基本(元気な時のこども)預かり **600円**
 - 病児・病後児預かり **800円**

ひとり親家庭等補助制度あります。

利用料の半額補助され、上限6万円(年間)までです。

保育ルームの利用

*事前連絡要。利用無料。
親子で、お友達同士でご利用ください
飲食可能です。
平日/9:30～17:00 土曜/10:30～14:30

いわで・きのかわファミリーサポートセンター「そらまめサポート」

〒640-0413 紀の川市貴志川町神戸327-1 河南図書館3階

Tel. 0736-60-4337 Fax. 0736-60-4338

メール. isora@comdesign-npo.com



いわで・きのかわ ファミサポ



開所時間 / 月～金曜 9:00～17:30

土曜 10:00～15:00 (日・祝・夏季休暇・年末年始を除く)

毎週水・金曜日は、岩出市あいあいセンターでも入会受付をしています。
(時間 10:00～15:00、祝・夏季休業・年末年始を除く)

そらまめサポート通信

23

会員数・利用会員…1060名・スタッフ会員…192名・両方会員…47名・合計…1,299名 (R7.8月31日現在)



そらまめPHOTO

プレそらまめちゃん
(保育ルームの一時預かり無料体験)



利用会員:Tさまの感想

少し緊張しながら到着すると、笑顔で娘の名前を呼んでくださる支援員さんとたくさんのおもちゃが迎えてくれました。にこにこしながら部屋に入っていく娘の姿を見てとても安心しました。1日の様子を丁寧に教えていただけたのも嬉しかったです。

TOPIC

- じょうちゃん園長体験記 ~あなたのことをたいせつにおもっているよ~
- 入会用紙の記載が簡単になりました

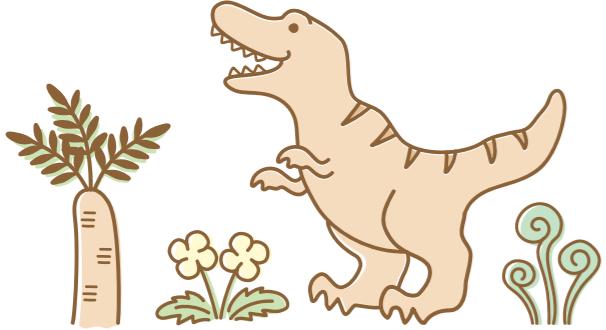
そらまめサポートとは、「子どもを預かってほしい人(利用会員)」と「預かる人(スタッフ会員)」が会員となって、子育てを地域で支え合う活動です。

「ひとりの子どもを育てるには村中の大人の知恵と力が必要」(アフリカのことわざ)

わたしたちはこの言葉を心におき、子どもとその家庭にていねいな手助けができる力をもちたいと願っています。



あなたのことを たいせつに おもっているよ



白浜町十九渕にて撮影

担任の先生の一時間の休憩時間に保育室に入っていました。あるとき、三歳児の部屋に入ると、みかちゃんが絵本を持ってきて、「これ読んで」と言って本箱の横の椅子に私を誘いました。私が座るとすぐ膝の上に乗ってきて絵本をひろげました。

読み始めると、近くで遊んでいた子どもたちも寄って来て絵本を見だと、「見たらあかん、見たらあかん」と手を振り回して追い払い続けました。子どもたちは言われても構いなしに絵本を見ていましたが、みかちゃん自身は結局絵本を見る間もなく、次々とかわりの絵本を持ってきましたが、結果は同じでした。

独り占めした膝の上で、自分のためだけに読んでもらうのを楽しみにしていたのに可哀そうでした。集団生活の場で、ひとりの子どもに十分寄り添うことは難しいことだなと思いました。

年長児の部屋へは、いちばん多く入りました。私が行くと机の前に十人余りの子どもたちが、絵本や折り紙などを持て並んでいて「うさぎ折って」「この本読んで」などと言いました。

複雑な折り紙で苦戦していると、後方で順番を待っている子たちが、「園長先生は歳とってるのに、難しいのは可哀そうや」などと言っているのが聞こえてくると、意地になって頑張ったりしました。

あるとき、ひろし君が、十センチ四方の紙を十枚ほど束ね、ホチキスでとめて本のようにしたのを持ってきて、「おかあさんが、これ描いてくれたから、先生も描いて」と差し出してきました。一枚目に鉛筆でイルカが描いてあったので、二枚目にひろし君の注文に応じて、オルカを描きました。それは毎日続き、ライオンが描いてあればヒョウ、カバが描いてあればゾウを描きました。

ひろし君の家は、共働きの両親、支援学校に通っているお兄さんの4人家族です。支援事業でお兄さんの夏休み中の預かり保育を手伝ったことがあるので、常に見守りが必要であることはわかっています。

この環境でおかあさんが仕事から帰って家事をしながらお兄さんの世話をすれば、ひろし君と向き合える時間は、ほんのわずかしかなかったでしょう。そんな中、ひろし君に頼まれて、描いてあげたのだと思いました。

私が描いた翌日には必ず次のページに描いてあったので、おかあさんへの返信のような思いも込めて描きました。おかあさんと先生に毎日描いてもらい、ページが埋まっていくのを楽しみにしているらしく、描いている私の指先から目を離さずに見ていました。

一度も列に並んでいたことのなかったけい君が、卒園も近くなったある日、恐竜図鑑を持って並んでいて「これ描いて」とティラノサウルスの絵のページをひらいで見せました。年長になってやっと毎日登園できるようになっていましたが、一人で遊んでいることも多く、列に並ぶのにも勇気がいったかもしれません。

A4のコピー用紙に描き始めたのですが、休憩時間が終わり事務室で仕上げました。けい君は何回も見に来ましたが、完成した絵を渡すと、「わっ」と声をあげて大喜びで持って帰りました。

けい君が一年生になって、一学期も終わろうとしていたとき、町のスーパーでおかあさんに会いました。

「元気に学校へ行っていますか」と声をかけると「それがね先生、あのティラノサウルスの絵を毎日ランドセルに入れて学校へ行っています」とおかあさんが笑いながら話してくれました。

してほしいことを自分のためだけにしてくれる人が身近にいると、子どもは安心して生活でき、人を信頼する気持ちが生まれてきます。忙しかったり、疲れたりしてできないこともあるでしょうが、一つでも「～して」に心を込めて応じてあげれば子どもは満足するものです。



じょう みなこ 城 皆子 氏 (白浜町在住)

NPO法人Com子育て環境デザインルーム副理事長、元公立保育園長
H16年春まで旧日置川町立保育園長として勤務。
在職中から子育て支援事業に積極的に取り組み、現在も引き続き、子育て支援を中心にさまざまな地域貢献に従事。

PROFILE

保育実習報告

そらまめサポートでは、子育て応援連続講座を受講後、会員登録された新規スタッフ会員さんに保育実習を実施しています。

保育実習は、ファミサポでの活動の体験、およびアドバイザーとの連携を測る目的で実施しています。

今回はその保育実習の様子をご紹介します。

参加した新スタッフさんの感想

- 1対1の保育経験がなかったので、深く関わりながら遊ぶことができ、楽しかったです。
- 眠ってくれないかと思いましたが、眠ってくれて良かったです。



お子さまとの時間を楽しみながらしっかり見ていただきました。



次回連続講座案内

第2回 秋 2025(令和7)年度 子育て応援連続講座

日時: ①11月14日(金) ②11月20日(木) ③12月4日(木)
④12月9日(火) ⑤12月19日(金)

場所: 岩出市総合保健福祉センター「あいあいセンター」
視聴覚室 *12/19は会議室B

定員: 25名

参加費: 無料 (受講には申し込みが必要です)

一時保育あり: 無料・予約制・定員あり

*初日の講座は受講必須となっております。

